

第17回 よむゾーくん大賞 ブックリスト



藤枝市立図書館

はじめに

近年、全国的に「読書離れ」や「活字離れ」が言われており、読書を楽しむ方と興味がない方との二極化が進行しています。

また、子どもが「本」と関わる時間が少なくなることで、幼少の頃に伸ばすことができる感性や表現力、創造力を低下させてしまうなどの深刻な影響があるとも言われています。

幼少の頃から本に親しみ、読書の喜びや楽しみを知ることは、子どもたちの知性や感性を育てていく上でとても重要なことです。周りの大人をはじめ関係機関が理解、連携、協力し、子どもたちが本に触れたり、読書に親しむ機会を積極的に提供するとともに、その楽しさや大切さを感じられるような環境づくりに取り組む必要があります。

本市では、平成19年5月に策定した「藤枝市子ども読書活動推進計画」で家庭・学校・地域等が連携、協力して総合的に子どもの読書活動を推進することを掲げ、子どもの読書環境の整備に取り組んでいます。

その取り組みのひとつとして、今年度も子どもの読書活動の啓発を目的とし、「よむゾーくん大賞」を開催しました。この事業は、子どもたちが、1年間に読んだ本の中で「この本、ぜひ読んでみてほしい！」とおすすめてほしい本を、文章と絵で紹介するものです。

第17回となる今回は、小学生から高校生まで3,250点もの応募をいただきました。この応募作品の中から市長賞、教育長賞、図書館協議会長賞、及び入選に選ばれた作品について、ブックリストにまとめましたので、ご活用ください。

令和7年2月

藤枝市教育部図書課

目 次

市 長 賞	1
教 育 長 賞	3
図書館協議会長賞	4
入 選	6



ここを
クリック

藤枝市立図書館に所蔵のある本は、
このボタンを押すと予約のページに移動します。



電子書籍は
ここをクリック

ふじえだ電子図書館に所蔵のある本は、
このボタンを押すと貸出・予約のページに移動します。

【市長賞】 小学生低学年の部

青島東小学校 2年

寧 夏帆 さん

『英語が好きになる』

関 和之/マンガ・イラスト

旺文社

830工



予約

ここを
クリック



電子書籍は
ここをクリック

あなたは英語が好きですか。それともきらいですか。わたしはきらいです。でもその本を読んだら、わたしはわかりました。その本の中には196か国のうち、64か国も英語をつかっているなんてはじめて知りました。もしわたしが英語をしゃべれたら世界中の人と友だちになれるのかなあと思って英語をべんきょうしようと思いました。さいしょの「なんで」が、この本でいろいろ知って、とってもべんきょうになるいい本だと、わたしは思います。

【市長賞】 小学生高学年の部

岡部小学校 6年

横山 芙雪 さん

『びりっかすの神さま』

岡田 淳/作・絵偕成社

偕成社

913オカ



予約

ここを
クリック



電子書籍は
ここをクリック

私は一番が好きです。「だれかより上がいい。自分のがんばりが見えるものにしたい。」だから必死に戦います。私はそれをバカに、笑いものに、されたくないと思います。この本にはびりにしかみえない人を見るためわざとびりになる子がいます。すると本当にびりな子が怒りました。あたり前です。真剣には真剣で行くのが相手に対する絶対の礼儀だと思います。私はこの考えが互いを尊重することに繋がってほしい。その子は、運動会の後「皆本気で走った。」と。

【市長賞】 中学生の部

大洲中学校 2年

奥田 向日葵 さん

『推し、燃ゆ』

宇佐見 りん／著

河出書房新社



913.6ウサ

予約

ここを
クリック



電子書籍は
ここをクリック

「推し」

人に薦めたい程、好感を持っている人物のこと。あなたに、推しという存在はあるだろうか。主人公・あかりは、生きづらさを感じている高校生。推しのために努力し、働き、推しのために生きる。しかし、そんな生活も突然終わりを迎える。推しが燃えたのだ。遠のいていく推しを受け入れられず、絶望の底にいるあかりを私自身と重ねてしまった。同時に、推しと生き方について考えさせられる。推しがいる人に是非、読んでほしい。

【市長賞】 高校生の部

藤枝西高校 2年

中住 瑠伽 さん

『君たちはどう生きるか』

吉野 源三郎／著

マガジンハウス



予約

ここを
クリック



電子書籍は
ここをクリック
(漫画版)

Y159.5ヨ

昨年ジブリの新作映画として話題になっていた事から興味が湧きこの作品を選びました。又、いじめ問題についてどう考え行動すべきかや怖さ故に友達を裏切り自分を守ろうとする愚かさについて考えさせられる作品でした。

更に作中では消費する人と生産関係についてなど日々の私たちが生きる世界でも起こり得る社会問題を自ら考え答えを見つけようとする物語でもありました。今も昔も変わらない問題があり、自分を見つめ直すきっかけの一冊です。

【教育長賞】 小学生低学年の部

青島東小学校 3年 大竹 陽翔 さん

『へいわとせんそう』

たにかわ しゅんたろう／ぶん

Noritake／え

ブロンズ新社

Eノリちしき

予約

ここを
クリック



ぼくはこの本を読んで思ったことが二つあります。
一つ目はへいわとせんそうのちがいについてです。

平和というものは、人々があらそわないことで、せんそうは、人々が何かを勝ちとりたいためにやっているということが分かりました。

二つ目は人々のちがいについてです。

人々はすべて同じ人間同じしゅぞくなのにどうしてせんそうをするのでしょうか、ぼくは、ぎ問に思いました。みんなもこの本を読んでみて。

【教育長賞】 小学生高学年の部

青島小学校 5年 植田 翔斗 さん

『前島密 郵便で日本の人びとをつなぐ』

鈴木 悦子／文

石井 勉／画

あかね書房

289マエジマ

予約

ここを
クリック



みなさんは前島密という人物を知っていますか。前島密は、今の郵便制度をつくった人なのです。この本はそんな前島密の人生についてわかりやすく説明しています。前島密は子どもころから大人まで全国をめぐる興味のあることをやり続けていました。

常に自分の意見を持っていて、さらに行動に移せるすごい人です。そんけいします。昔の言葉が出てきてむずかしいけれど読む価値があると思います。どんな意見を持っていたか実際に読んでみてください。

【教育長賞】 中学生の部

岡部中学校 2年 中西 咲幸 さん

『ぼくは地球を守りたい』

二酸化炭素の研究所、始めました』

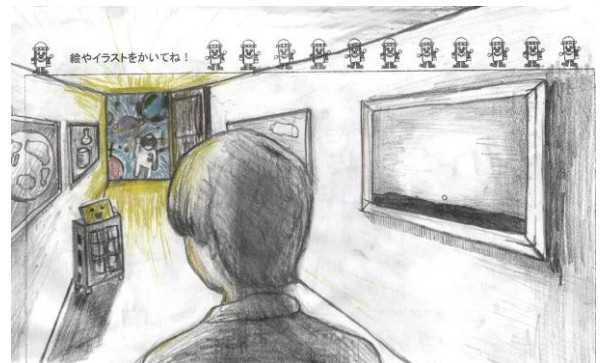
村木 風海／著

岩崎書店

574ム

予約

ここを
クリック



「ぼくは地球を守りたい」の著者、村木さんは地球温暖化から「地球を守りたい」という思いを持ち、二酸化炭素の研究や自分自身の夢を追っている化学者です。この本の本文中に「学びは冒険」という村木さんの言葉が多く登場します。学びに対して前向きで失敗を糧にし必ず改善する村木さんは、まさに学びの冒険家のような感じました。たくさんの冒険を重ね、夢を追い続ける村木さんの姿は私たちの新しい学びになります。ぜひ読んでみてください。

【教育長賞】 高校生の部

藤枝西高校 2年 滝浪 尚輝 さん

『私の職場はサバンナです！』

太田 ゆか／著
河出書房新社

Y482.4オ

予約 [ここをクリック](#)



大好きな動物を守りたい。そんな思いからアフリカで日本人女性初のサファリガイドの太田ゆかさん。彼女のガイドの下、本を読んでいるのにサファリツアーへ参加しているような気分になれます。知られざるサバンナの動物たちの生態や人間と動物が共生していくために大切なことが学べます。親しみやすい口語体で書かれているのでとても読みやすい本です。ぜひ一度この本を読んで「人間と動物」について考えてみてください。

【図書館協議会長賞】 小学生低学年の部

青島北小学校 3年 小林 怜真 さん

『かあちゃん取扱説明書』

いとう みく／作
佐藤 真紀子／絵
童心社

913イト

予約 [ここをクリック](#)



ぼくは、かあちゃん取扱説明書という本が好きです。その本はガミガミうるさくてケチなかあちゃんの取扱説明書をむす子のでつやが書く本です。

なんでその本が好きなのかというと、むす子のでつやが家族の中で一番いぼっているこわいかあちゃんのおつかい方を書いて「食べたいごはんをつくってもらう方法」や「勉強、勉強といわせない方法」をいろいろな方法でクリアしました。

それですい後にはかあちゃんがトリセツを見たのがおもしろかったです。

【図書館協議会長賞】 小学生高学年の部

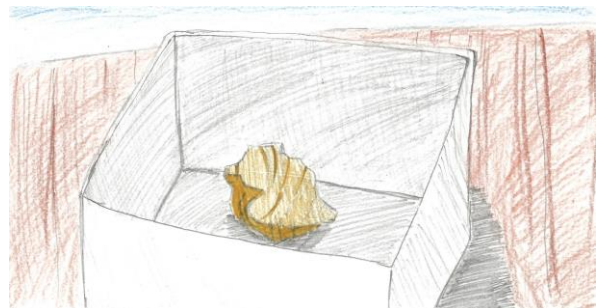
青島小学校 6年 井上 柚花 さん

『ぼくはうそをついた』

西村 すぐり／作
中島 花野／絵
ポプラ社

913ニシ

予約 [ここをクリック](#)



私はこの本を読んで、昔の出来ごとを今に伝える大切さを学びました。この本は戦争体験が書かれていて、原爆が落とされたとき、どのくらい力だったのか、どのくらいのはんいだったのかかわしく書いてあります。私はもともと広島県に住んでいて、一年生のころに原爆の授業を受けました。また、原爆が落とされた日にもくとうをする事もありました。そうやって昔起きてしまったことを今に伝えている被爆者の方の話をたくさん聞いていきたいです。

【図書館協議会長賞】 中学生の部

西益津中学校 1年 前田 悠愛 さん

『大丈夫じゃないのに 大丈夫なふりをした』

クルバウ／著
藤田 麗子／訳
ダイヤモンド社

予約 ここをクリック

929.1クル



多くの人が「大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした」経験があるのではないのでしょうか。生きていれば、楽しい事がある分、悩み事もたくさんあります。学校、勉強、恋愛、人間関係など、大丈夫じゃないのに人に気を遣って強がる。素の自分を出したいのに、周りの目が気になって仮面を被り、嫌われない努力ばかりする。そんな人のすぐそばにこの本があったら、気持ちが楽になる心の拠り所になるでしょう。大切な一人時間に、読んでみてほしいです。

【図書館協議会長賞】 高校生の部

藤枝西高校 1年 渡辺 琴珀 さん

『52ヘルツのクジラたち』

町田 そのこ／著
中央公論新社

予約 ここをクリック

913.6マチ



「52ヘルツのクジラたち」この本は2021年に本屋大賞を獲得しています。52ヘルツのクジラとは他の鯨が聞き取れない高い周波数で鳴く世界で一頭だけのクジラであり仲間にも声が届かない、何も伝えられない。世界一孤独と呼ばれているクジラを題材とし自分の人生を家族に奪われてきた主人公、貴瑚が母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年と出会い、誰にも届かない声を届けようとする、とても力強い魂の物語です。

【入選】

小学生低学年の部

青島小学校

1年

山本 泰士 さん

予約

ここを
クリック

『えらいこっちゃんのいちねんせい』

かさい まり／文

ゆーち みえこ／絵

Eユチ

アリス館

このえほんは、いちねんせいになったばかりの男の子のはなしです。じゅぎょうちゅうにねてしまったり、トイレに行くことをがまんしたり、がっこうの中でまいごになったり、たいへんなことがたくさんおこります。さいごは、あたらしいともだちができました。たのしい一ねんせいのまい日がかかれています、とてもたのしい本です。

【入選】

小学生低学年の部

青島小学校

1年

大岩 夕珠 さん

予約

ここを
クリック

『ゆき』

はた こうしろう／絵

ひさかたチャイルド

Eハタ

ゆきの本は、ゆきというたのかしの本でした。
字は、大きくてよみやすかったし、えも見やすくて、ゆきはたのしいんだな、とつたわかりました。
わたしは、一どゆきあそびをしたことがあります。でも空からふるゆきは見たことがありません。
この本をよんで、ゆきはこういうかんじにふるんだなとおもいました。
ふじえだはゆきがふらないので、たくさんのおともだちによんでほしいです。

【入選】

小学生低学年の部

藤枝中央小学校

2年

植原 陽真 さん

予約

ここを
クリック

『なずずこのつぺ？』

カーソン・エリス／さく

アーサー・ビナード／やく

Eエリ

フレーベル館

この本は、虫たちのことばで虫たちがおしゃべりをしている話です。虫たちのことばがわからないときがおもしろいです。ちいさな花のめがせいちょうして、そこに虫がかくれがを作ったけれど、くもにおそわれてしまってハラハラしました。でも、鳥がたすけてくれて、かんどうしました。
この本を読んで、わるい虫いがいはころさないようにすることが、大切だと思いました。いつか、虫たちのことばをけんきゅうしたいです。

【入選】

小学生低学年の部

広幡小学校

2年

土屋 明依 さん

予約

ここを
クリック

『なぞの手がやってくる』

押尾 きょうこ／作

いとう みつる／絵

913オシ

岩崎書店

この本は、なぞの手がマサキにおそいかかってくるお話です。
マサキの気持ちが変わると思ったところは、こわくておもしろいところでした。
理由は、わたしもこわいゆめを見るとトイレに行きたくなるからです。きっと、マサキもこわい人が出てくるゆめを見たから、おしっこをもらしたんだな、と思いました。
ほかにもマサキがおもしろいことをたくさんするので、ぜひ読んでみてください。

【入選】

小学生低学年の部

青島北小学校 2年 杉田 杷奈 さん

予約 [ここをクリック](#)

『鳥の巣いろいろ』

鈴木 まもる／作 絵
偕成社

Eスズちしき

この本をえらんだりゆうは、色々なすの絵があったからです。
これは、鳥が色んなばしょに、赤ちゃんをまもるためにくふうして、すをつくるお話です。
一番おもしろかったところは、にせものの入口があるすのところ。
なぜかという、今までおわんのようなすしかないと思っていたからです。
新しいはっけんがたくさんあるので、みなさんもぜひ読んでみて下さい。

【入選】

小学生低学年の部

青島北小学校 2年 深井 真 さん

予約 [ここをクリック](#)

『東京のでんしゃのいちにち』

もちだ あきとし／ぶん・しゃしん
小峰書店

686モ

東京の電車は、まだ空がくらい、朝4時からうごきはじめます。一番早おきなのは、京ひん東ほく線です。
ぼくがすきな電車は京ひんきゆう行です。はね田空こうまで行けます。赤い電車でゆう名ですが、じつは黄色や青い電車もたまにはしています。見かけるとラッキーと言われてます。ぼくはどちらも見たことがあります。
東京ではしているたくさんの電車のしゃしんを見るだけでもおもしろいので、ぜひ、みなさんも読んでください。

【入選】

小学生低学年の部

岡部小学校 2年 辻 夏那 さん

予約 [ここをクリック](#)

『としょかんライオン』

ミシェル・ヌードセン／さく
ケビン・ホークス／え
福本 友美子／やく
岩崎書店

Eホク

わたしのお気に入りの本は、ミシェル・ヌードセンさんの「としょかんライオン」です。
この本には、ライオンといういきものが出てきます。ライオンは、としょかんを気にいって、まい日きて、お話を聞きます。
メリウエザーかんちょうがライオンにふうとうをなめてもらったり、たなのほこりをはいてもらったり、手つだいをしてくれるところが、やさしいので大すきです。
ぜひ、読んでみてください。

【入選】

小学生低学年の部

藤枝中央小学校 3年 大石 心彩 さん

予約 [ここをクリック](#)

『花粉症のひみつ』

もちつき かつみ／漫画
学研パブリッシングコミュニケーションビジネス事業室

493カ

おすすめする理由は、マンガがかいてあるし、長い文を読むのがにがてでも、楽しく読めるからです。二つめは、花粉症ってこういうことになるからなるんだーと後から役に立つからです。たとえば、花粉症は、いろいろななしょくぶつがげんいんです。たとえば、ヒノキ、ヨモギ、スギ、カモガヤから花粉症になります。この本は、花粉症の人におすすめです。理由は、花粉症になるげんいんがたくさんあるからです。

【入選】

小学生低学年の部

瀬戸谷小学校

3年

瀧下 奏音 さん

予約

ここを
クリック

『インコがおうちにやってきた！』

海老沢 和莊／監修
学研プラス

646イ

わたしのオススメの本は、インコがおうちにやってきた！です。なぜかというインコが食べてはいけない物や、インコが好きな物など知れるからです。私の家には、セキセイインコが一羽います。この本を読んで「おむかえしたい。」と思っておむかえしました。なので大切におせわをしています。とても内ようがすごく分かりやすく、友だちといっしょに読んでいます。好物のおやつもあげすぎないように気をつけています。ぜひオススメのインコがおうちにやってきた！を読んでみてください。

【入選】

小学生低学年の部

青島北小学校

3年

望月 蘭愛 さん

予約

ここを
クリック

『転んでも、大丈夫 ぼくが義足を作る理由』 白井 二美男／著

ポプラ社

494ウ

わたしは、転んでも、大丈夫という本をえらびました。
この本は、足が病気や事故でなくなってしまった人に、ぎ足を作って、助けてあげるお話です。白井さんたちは、足がなくなってしまったお客さんのねがいのぎ足を作っています。
わたしだったら、みんなを助けられるぎ足が作れないのに、白井さんたちは、みんなを助けられて、スポーツも出来る。そんな人にわたしは、なりたいたいと思いました。

【入選】

小学生高学年の部

藤枝小学校 4年 丹呉 到路 さん

予約 [ここをクリック](#)

『「悩み部」の栄光と、その慢心。』

麻希 一樹／著

usi／絵

Y913.6マキ

学研プラス

みなさんはだれかに悩みを相談したことがありますか。相談するのってなかなかできませんよね。そんな悩みを解決してくれるのが悩み部です。理由は、この本は人間のふくざつな関係せいを学ぶことができます。言っではいけないことや、言っではいいことの区べつがつくようになります。お話の中には決めつけて関係せいが悪くなったり、自分はよく言ったつもりでも、人にとってはよくなかったりすることがあります。たくさん話があるので、読んでみてください。

【入選】

小学生高学年の部

西益津小学校 4年 渡邊 裕翔 さん

予約 [ここをクリック](#)

『ゆるゆる猛獣図鑑』

和音／まんが

小宮 輝之／監修

489カ

Gakken

この本には、色々な猛獣のイラスト、生物の名前、特ちょう、豆ちしき、分類、大きさ、分布、食性や猛獣の生活を紹介します。そして本の案内役がいて、猛獣ごとにコメントをしています。ぼくが一番気に入った猛獣はオコジョです。理由は、見た目はかわいいのに、肉食で気性が荒いことです。60種以上の猛獣が紹介されています。ぜひこの本を読んで好きな猛獣を見つけてみてください。

【入選】

小学生高学年の部

葉梨西北小学校 4年 河村 芽結華 さん

予約 [ここをクリック](#)

『給食委員はアイドル』

小松原 宏子／作

あわい／絵

913コマ

静山社

この本は、給食が大好きな藤堂ルミと給食をあまり食べない上野カオルの、とある学校のお話です。この本を読んで、給食の大切さを知りました。給食を食べないと元気が出ないし、栄養バランスがとれるので元気に学校に行けるから、給食は大切だと思いました。わたしは、給食をへらしてしまうので、これからは、たくさん給食を食べたいです。また、給食を食べて元気な体をつくろうと思いました。給食が楽しみです。

【入選】

小学生高学年の部

青島小学校 5年 鈴木 小柚 さん

予約 [ここをクリック](#)

『なおこ、宇宙飛行士になる』

山崎 直子／作

松井 晴美／絵

B538ヤ

角川書店

この作品を読んで、夢に向かって努力することの大切さを学ぶことができました。なおこは小さいころから宇宙に興味を持って、いろんな訓練をして、宇宙飛行士になることができました。なおこさんの決してあきらめないところや、努力の積み重ねがすばらしいと思いました。あと、宇宙の広さや人の可能性、努力についても考えることができました。私もダンサーになるという夢をどんなことがあってもあきらめずに努力して自分の夢をかなえようと思います。

【入選】

小学生高学年の部

葉梨小学校

5年

森谷 心桜 さん

予約

ここを
クリック

『時代を切り開いた世界の10人 津田梅子』

高木 まさき／監修

茅野 政徳／指導

学研教育出版

280ジ2-10

津田梅子さんは、女子英学塾を開校させた人です。

梅子さんは、「私が死ぬことによって、日本のむすめたちを向上させることができるのなら死んでも良いとさえ思います」と強い信念をもっていました。それだけ男性と対等に暮せようになりたいと思っていたことが分かります。

自分で決めたことを他の人にその道は捨てるべきだと言われてもあきらめずに進み続けた梅子さんは、すごいなと思いました。私も、自分で決めたことは進み続けたいです。

【入選】

小学生高学年の部

高洲南小学校

5年

藤本 咲 さん

予約

ここを
クリック

『きみの友だち』

重松 清／著

新潮社

913.6シゲ

交通事故で松葉杖で過ごすことになった「きみ」である恵美と、病気をもった「友だち」の由花と、この二人と関わりがある「みんな」のお話です。由花と友だちになった恵美が自分にとっての「友だち」が分かり、出会っていく「みんな」に本当に大切なものにふれ、「みんな」が変わっていく様子がえがかれています。私は、友だちについて深く考えたことがなかったから、改めて考え実感しました。青春や感動を感じられるので、ぜひ読んでみてください！！

【入選】

小学生高学年の部

岡部小学校

5年

館脇 あおい さん

予約

ここを
クリック

『ガラスの壁のむこうがわ』

せいの あつこ／著

国土社

913セイ

この本は、友達がなくて、友達を作らなきゃと思っている人におすすめの本です。ちょっとだけあらすじをしょうかいすると、「早く友達をつくろうね。」と言われつけた、由香さん。由香さんも本当は友達をつくりたいと思っているけど、人と話すとガラス豆がふってくるようにかんじる、そんな女の子のお話です。私がおすすめした理由は、本当の友達のよさを知れるし、むりやりに友達をつくらなくていいんだっていうことを伝えたかったからです。ぜひ読んでね。

【入選】

小学生高学年の部

藤枝小学校

6年

鈴木 彩世 さん

予約

ここを
クリック

『ぼくはうそをついた』

西村 すぐり／作

中島 花野／絵

ポプラ社

913ニシ

ウソをつくことはよくないことと思いませんか？この本は、優しさから生まれるうそがあることを教えてくれます。リョウタの相手を思ったからこそついたウソは、レイのひいおばあさんが昔の戦争で負った心の傷を少しだけでも癒やすことが出来たから。

戦争が破壊するのは、その時の人や物だけではない。人の心は、その後もずっと傷ついたままだ。戦争はずっと先の未来まで傷つける。だから絶対ダメだと感じました。ぜひ読んでみてください。

【入選】

小学生高学年の部

青島小学校

6年

笠上 夕莉 さん

予約

ここを
クリック

『もしも病院に犬がいたら』

岩貞 るみこ／作
講談社

B493イ

この本では、病気で苦しむ子ども達が入院している病院に、犬がきたら…というノンフィクションをえがいています。この本では、こども病院ではたらく犬、ベイリーが登場します。ベイリーは、病気とたたかっている子ども達がいにも、その保護者の方や、病院の先生にまで、元気や勇気をあたえてくれます。この本は、犬の偉大さ、すごさが分かります。ベイリーがどんな影響をあたえてくれるのか、どんな事がおこるか、ぜひ読んで確かめてみてください。

【入選】

小学生高学年の部

稲葉小学校

6年

堀田 彩芽 さん

予約

ここを
クリック

『水を活かす技術のひみつ』

深草 あざみ／まんが
Gakken

518ミ

この本は水のことについてくわしく書いてあります。
まず一つ目は「大切な水」です。人とぶつかってジュースをこぼしてしまいます。ある登場人物は「また買えばいいです。」と言います。でも相手は水の妖精です。水をそんなにむだには使ってはいけません。「水はとっても大切な物なのです。」と水の妖精が言っててすごいと思いました。この本を読んでみて水の大切さがすごく分かりました。これからは大切にしていきたいです。読んでみてください。

【入選】

中学生の部

大洲中学校

1年

碓井 茉莉花 さん

予約

ここを
クリック

『人間失格』

太宰 治／著
新潮社

B913.6ダザ

この本はある男が酒と薬に溺れていき、人の裏や人生の生き辛さが感じられる本です。この本を読み始めた時に私は、「この主人公は作者だな。」とすぐ気づきました。それぐらい文章が生々しかったのです。段々と読み進めていくと、まるで自分かのように思えてきて恐ろしくなりながらもどこか、この男の恥の多い生涯を最後まで見ていたくなるようにも感じました。

みなさんも汚くてどこか美しいまさに「恥」な男の生涯を見届けてはどうでしょうか。

【入選】

中学生の部

広幡中学校

1年

大石 ひろ さん

予約

ここを
クリック

『めっちゃうま！？昆虫食事典』

内山 昭一／監修
大串 ゆうじ／絵
大泉書店

383×

この本は、今注目されている昆虫食について書いてあります。

私はこの本を読んですごくおどろきました。理由は、昆虫は見かけによらず、ニワトリの卵と同じくらいの栄養価があるからです。あのゴキブリにもタンパク質がたくさん含まれています。昆虫食の紹介のページは、とても衝撃でした。色々な昆虫の料理がリアルなさし絵と一緒に紹介されています。みなさんもこの本を読んだら、もしかしたら食べたくなるかもしれません。

【入選】

中学生の部

広幡中学校

1年

守屋 和葉 さん

予約

ここを
クリック

『ひとつぼし』

菊田 まりこ／著
白泉社

Eキク

この本は誰もが持っているひとつぼしについて書かれています。文中に「みんなちがうひとつぼし。きみのひかりはきみだけのもの。どんなにほかのひかりがまぶしくても、じぶんのひかりをしんじていこう。」とあります。私はこれを読み一人一人のペースや特技、好きな事、性格が違ってみんな平等にじぶんのひかりをもっていると気付かされじぶんに自信を持てるようになりました。とても心に残る良いお話なのでぜひ手に取って読んでみてください。

【入選】

中学生の部

葉梨中学校

2年

山崎 莉乃 さん

予約

ここを
クリック

『カラフル』

森 絵都／著
カシワイ／画
文藝春秋

Y913.6モリ

この本は、生前に罪を犯してしまったぼくが輪廻のサイクルから外され天使業界の抽選にあたり、もう一度人生をやり直すために自殺を図った少年、真の体にホームステイし生前の罪を思い出していくお話です。おすすめする理由は、人は一色では表せなくてどんな人でも見方を変えるとたくさん色で表せると知れたからです。この本を読むことで一色だった世界がカラフルで楽しい世界になると思います。ぜひ読んでみてください。

【入選】

中学生の部

葉梨中学校

2年

弓桁 奈帆子 さん

予約

ここを
クリック

『あるかしら書店』

ヨシタケ シンスケ／著
ポプラ社

726.6ヨ

みなさんは、「一風変わったおもしろい本がほしい！」と思ったことはありますか？この本は「本にまつわる本」がある小さな書店の話です。そしてそこには、本にまつわる名所や行事、珍しい本を求めて色々なお客様がやってきます。ありそうでなさそうなしかけ絵本、水中にある図書館など「本」が「本」ではないような世界が広がっています。中学生になった今、改めて読んでも本の新たなおもしろさ、魅力を感じます。ぜひ手に取ってみてください！

【入選】

中学生の部

葉梨中学校

2年

秋山 友咲 さん

予約

ここを
クリック

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

汐見 夏衛／著
スターツ出版

Y913.6シオ

中学二年生の百合が、戦時中の日本にタイムスリップしてしまう。そして、そこで出会った優しくて誠実な特攻隊員の彰に惹かれていくという物語。大切な人を守りたくても死を選ばなくてはならないという特攻隊の心情を知り、胸が熱くなった。食べたり、勉強をしたり、友達と話したり。今の私たちの普段の日常は決して当たり前のことではない。一日一日を大切に生きなくてはならないと思った。大切な人がいる人に、ぜひ読んでみてほしい。

【入選】

中学生の部

高洲中学校

2年

關 咲彩 さん

予約

ここを
クリック

『劇場版アニメぼくらの7日間戦争』

宗田 理／原作
伊豆 平成／文
けーしん／絵
KADOKAWA

B913イズ

ぼくらの7日間戦争という本は自分のやりたいことをやってみることの大切さ、仲間と協力することのすばらしさなどを教えてくれる本だと思いました。親の都合で引っ越してしまう綾という人物を連れて、誕生日まで7日間のバースデーキャンプをすることになるのですが、そこには恋について書かれていたり、大人との気持ちのすれ違いについて書かれていたりするため、読んでいる側もすごく共感する部分もありおもしろい作品です。ぜひ読んでみて下さい。

【入選】

中学生の部

瀬戸谷中学校

2年

伊久美 日華 さん

予約

ここを
クリック

『しんどい時の自分の守り方』

増田 史／著
ナツメ社

Y371.4マ

この本は、辛い時やしんどい時、自分では解決できなかった悩みを解決してくれるそんな本です。人は必ず、しんどいと感じることがあると思います。そんな時のお助けノートのような本で、この本を読むだけで、心のモヤモヤが減ったり、楽になります。この本の作者、増田史さんは自分が辛い思いを経験したからこそ、悩んでいる側の目線で、悩みを見える化し、アドバイスをしてくれます。今、辛い思いをしている人は、ぜひ読んでみてください。

【入選】

中学生の部

岡部中学校

2年

柏木 咲妃 さん

予約

ここを
クリック

『あずかりやさん』

大山 淳子／著
ポプラ社

913.6オオ

この本は、一日百円でどんなものでも預かってくれる、不思議なお店を舞台に、様々な事情を抱えて訪れるお客さんと、店主の交流を書いた物語です。

私は、このお店の店主に、すごく魅力を感じます。店主は盲目の優しい青年で、お客さんの顔は見えませんが、しかし、盲目の店主だからこそ、お客さんに率直に向き合い、お客さんは安心して事情を打ち明けることができます。

優しさが溢れていて、読者の心を温めてくれる本です。

【入選】

中学生の部

岡部中学校

2年

国京 芳英 さん

予約

ここを
クリック

『また、同じ夢を見ていた』

住野 よる／著
双葉社

913.6スミ

「人生とは〜。」が口癖の主人公小柳奈ノ花は、格好良くて優しいアバズレさん、手首に傷がある南さん、お菓子作りが得意なおばあちゃん、様々な女性たちと出会って奈ノ花は幸せについて考えます。今、あなたは幸せですか。幸せとは何か、自分の幸せが分からないときこの本を読んでみてほしいです。私はこの本を読んで、人生は誰のものでもなく自分のものだから誰かの真似ではなく自分の幸せを見つけていきたいと心から思いました。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

1年

大石 悠菜 さん

予約

ここを
クリック

『カラフル』

森 絵都／著

カシワイ／画

文藝春秋

Y913.6モリ

自殺を図った少年、真の体にホームステイすることになった主人公。真はなぜ自殺を図ったのか。主人公は真として過ごすうち、人の欠点や美点が見えてくるようになる。人を表面上だけで知った気になってはいけない。相手と真剣に向き合えば、たった一色だと思っていたものがいろんな色を秘めていた。角度次第では相手の色んな色が見えてくる。これは、どんな相手であっても一度は真剣に向き合ってみよう、そう思えるような作品。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

1年

五十川 千優 さん

予約

ここを
クリック

『ストロベリームーン』

芥川 なお／著

すばる舎

Y913.6アク

高校の入学式に出会った佐藤日向と桜井萌。好きな人と一緒に見ると永遠に結ばれる神話がある赤い満月「ストロベリームーン」を見に行き、幸せな時間を過ごしていたのもつかの間、萌の余命が少ないことを知る。真っすぐで嘘のない日向が誠実に萌を思う気持ちが心に刺さります。今を全力で生きることの大切さ、人の優しさ感謝することの大切さを痛感。情景描写で最初から引き込まれ、まるで映画を観たかのような感覚になります。

【入選】

高校生の部

静清高校

1年

八木 俊輔 さん

予約

ここを
クリック

『銀河鉄道の夜』

宮沢 賢治／著

KADOKAWA

B913.6ミヤ

皆様は、銀河鉄道の夜をご存じでしょうか、銀河鉄道の夜というと、誰もが教科書で読んだであろう、「やまなし」を書いた、宮沢賢治の作品で、少年ジョバンニと親友のカムパネルラが銀河鉄道に乗って旅をしながら、色々な人物と会話をしながら「ほんとうのさいわい」について考えるお話です。この作品はとても有名で、聞いた事はあっても読んでない方もいると思います。読む事で色々な事を考えさせてくれる作品で、ぜひ手にとっていただきたい一作です。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

2年

鈴木 花音 さん

予約

ここを
クリック

『風が強く吹いている』

三浦 しをん／著

新潮社

913.6ミウ

「箱根駅伝を目指す。」竹青荘に住む個性豊かな十人が灰二が言ったこの一言で箱根駅伝を目指す。陸上経験者がほぼいない竹青荘のメンバーが互いにぶつかり合い、励まし合い壁を乗り越え、走りを通して自分自身と向き合う。どんなに辛くても困難に陥っても、全員の苦悩や想い、絆がつまった襷を『強く』走り、繋いでいく。逃げずに自分と向き合うことや仲間の大切さを改めて考えさせてくれる、そんな作品です。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

2年

西村 ほなみ さん

予約

ここを
クリック

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

汐見 夏衛／著

スターツ出版

Y913.6シオ

「必死必沈の覚悟で行って参ります。」七十年前、戦時中だった日本には命を懸けて戦地に飛び立つ若い特攻隊員がいました。この本は、戦時中の日本にタイムスリップしてしまった百合が特攻隊員の彰に出会い、限られた時間を共に過ごす話です。

夢があること、部活や趣味に一生懸命になれることは当時の人たちにとって当たり前ではありませんでした。平和のバトンをつないでいくために一人でも多くの方に読んでもらいたい一冊です。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

2年

松永 真嘉 さん

予約

ここを
クリック

『海と毒薬』

遠藤 周作／著

新潮社

B913.6エン

この本は太平洋戦争中に、捕虜となった米兵が臨床実験の被験者として使用された事件(九州大学生解剖実験)を題材とした小説です。人の命が軽くなってしまうかなりショッキングな内容でしたが、日本における「罪の意識」の書かれ方が面白かったです。戦時中に自分が生まれたとして、果たして登場人物の行為を良いとしてしまうのかと思いました。それくらい、内面の描かれる登場人物の一人一人に共感し、また考えさせられるような小説でした。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

2年

仲間 美音 さん

予約

ここを
クリック

『さよならの向う側 i love you』

清水 晴木／著

マイクロマガジン社

913.6シミ

あなたは死後一日だけ現世に戻れるとしたら、何をしますか？現世に戻っても会うことができるのは自分が死んだことを知らない人のみ。そんな状況の中で、私なら大切な人に何ができるのかと考えながら読んでいました。この本の中では四人の人が現世へ戻り、会えない最後の再会を果たします。そこには、計りしれない程の家族愛を、私は感じる事ができました。読み終えた時きっと、家族はいいなと思えると思います。ぜひ読んでみてください。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

2年

佐野 有為 さん

予約

ここを
クリック

『今日が人生最後の日だと思って生きなさい』

小澤 竹俊／著

アスコム

490.1才

みなさんは今日が人生最後の日だとしたらどのように過ごしますか。毎日を同じように過ごしていると日常の価値や感謝を忘れてしまうと思います。この本はホスピスで働く小澤竹俊さんによって書かれた本です。作者が今まで出会った患者さんの生き方を紹介しながら生きていく上での色々な考え方を教えてください。これまでの人生を振り返りながらこれからの人生の生き方や、生きる意味を考える機会になる本です。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

2年

長谷川 美春 さん

予約

ここを
クリック

『ぼくはイエローでホワイトで、
ちょっとブルー』

ブレイディみかこ／著
新潮社

376.3ブ

「多様性」って難しい。皆さんも一度は考えたことがあるのではないだろうか。そんな多様性について、悩みながらも毎日乗り越えていくぼくの話。日本とは異なる多国籍の国だからこそ感じる多様性の表と裏を学べる一冊。当たり前のような、相手の立場になって考えるという考え方が多様性においてどれだけ大切なのかということに気づかされる。多様性と絶対に向き合っていく私たちだからこそ読んで欲しい今の時代に必要な本。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

2年

神尾 明日香 さん

予約

ここを
クリック

『天国までの49日間』

櫻井 千姫／著
スターツ出版

Y913.6サク

十四歳の少女がいじめられ飛び降り自殺をした。死んで早々、天使に四十九日の間に天国へ行くか地獄へ行くか自分で決めるよう言われた少女は幽霊となり、四十九日間を現世で過ごす。そして彼女の姿が見えるという少年と出会い、死んで初めて自分の本当の想いに気づく。残された家族の想い、いじめていたメンバーに襲いかかる謎の事故。生きる素晴らしさ、命の尊さを改めて感じさせてくれる終始目が離せない最高な本です。ぜひ読んでみてください。